

2024年10月23日

JR貨物グループ、第3回植樹活動の実施について

～地域と共に取り組む「JR貨物グループの森林づくり」～

当社グループは、2024年10月18日（金）に福島県安達郡大玉村の「ふくしま県民の森」において、第3回目となる植樹活動を実施しました。本活動は、地元の方々との交流や、継続的な森林保全活動を通じて、地球環境への貢献を目指す取り組みです。

当日は、大玉村立玉井幼稚園から園児の皆さんが育てたドングリ苗（クヌギ）の贈呈があり、その苗を含む合計105本（クヌギ・ヤマモミジ・イタヤカエデ）の苗木を当社グループ社員が植樹しました。植樹活動は、当社グループが福島県、公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団及び福島県森林・林業・緑化協会と協働で取り組む「森林づくり協定」に基づいて行われ、今後も継続的に行われる予定です。

当社グループは今後も「JR貨物グループの森林づくり」における活動を通じ、福島県の復興を支援するとともに、「JR貨物グループ長期ビジョン2030」に掲げる「グリーン社会の実現」と「地域の活性化」に貢献してまいります。

1. 第3回植樹活動の概要

- (1) 日時 2024年10月18日（金）
- (2) 場所 ふくしま県民の森（JR貨物グループの森林づくりエリア）
- (3) 参加者 JR貨物グループ 55名、玉井幼稚園児3名（園長先生はじめ引率3名）、
（公社）福島県森林・林業・緑化協会、（公財）ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
- (4) 内容 玉井幼稚園児よりドングリ苗（クヌギ）の贈呈、及び植樹作業



ドングリ苗（クヌギ）の贈呈の様子



植樹作業の様子

JR貨物とそのグループ会社は、森林づくり協定に基づき、公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団及び福島県と協働して森林づくり活動に取り組んでいます。協定期間は、令和5年9月28日から令和10年3月31日で、ふくしま県民の森地内2.0haを対象森林として、計画的に除伐・間伐・植樹・下刈り等の森林整備を行っています。なお、この活動を通じて昨年度植樹を行った0.35haは、「福島県森林整備活動による二酸化炭素吸収量認証」がなされています。